

## 八王子市生涯学習審議会会議録（要点筆記）

会議名	平成30年度 第2回 生涯学習政策課審議会	
日時	平成30年8月22日（水） 午後7時00分～午後8時45分	
場所	八王子市生涯学習センター 10階第2会議室	
出席者氏名	委員	三浦真一、岡本夢乃、碓井恵夫、小倉艶子、加藤方浩、小林正博、丹間康仁、永村隆、浅井揚三、炭谷晃男、守屋和広
	説明者	杉山生涯学習政策課主査、太田図書館長、塩澤生涯学習政策課主査
	事務局	高木健治生涯学習政策課主査、塩澤宏幸生涯学習政策課主査 杉山浩一生涯学習政策課主査、平野克尚生涯学習政策課主事
欠席者氏名	石川智子委員、村上ひろみ委員	
議題	<p>【議案】</p> <p>平成29年度八王子市生涯学習関連事業評価について</p> <p>【報告事項】</p> <p>①平成28年度包括外部監査結果に基づく措置について</p> <p>②図書館サービスの基本的な考え方（中間まとめ）</p> <p>③東京都市町村社会教育委員連絡協議会 関連行事について</p> <p>④教育委員会定例会における関連事項について</p>	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	-	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<p>【議事案件資料】</p> <p>1-1 平成29年度八王子市生涯学習関連事業評価</p> <p>1-2 生涯学習審議会委員意見に対する事務局回答</p> <p>【報告資料】</p> <p>1-1 平成30年度都市社連協 第2回役員会・第2回拡大役員会、第1回理事会</p> <p>1-2 平成30年度都市社連協 第3ブロック研修会開催要項</p> <p>1-3 第60回全国社会教育研究大会青森大会 開催要項</p> <p>1-4 第49回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会 開催要項</p> <p>2-1 「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）」における「憩いライブラリの方向性（案）」について</p> <p>2-2 特別展示「明治の八王子と自由民権運動」の開催について（結果報告）</p> <p>3 生涯学習プランの振り返りを通していただいたご意見等について（まとめ）</p> <p>4 教育委員会 定例会 関連資料</p> <p>【その他配布資料】</p> <p>とうきょうの地域教育</p>	

	<p>1.開 会  2.定足数の確認 出席者 9 名、会議の成立を確認  3.会議録署名委員 丹間委員を指名  4.11 月 1 日付異動について  5.議 事</p>
<p>会 議 の 内 容</p>	<p>議事案件 平成 29 年度八王子市生涯学習関連事業評価について  資料 1-2:7 月の生涯学習審議会時の意見に対するご回答を生涯学習審議会評価としてまとめたもの。</p> <p>12 番：やむを得ない理由も D 評価にしてよいか？  →いわゆる「不可抗力によるもの」で開催出来なかったものは「評価なし」とする。</p> <p>13 番：実施地域について、由木地区の取りまとめに集計の漏れがあり、少なかった。27 件追加で掲載した。</p> <p>先月の生涯学習審議会にて委員の皆様から寄せられた意見を生涯学習審議会評価としてまとめた。</p> <p><u>基本施策 1「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」</u>に対する評価について  特徴としては「子どもたちが生涯学習に触れる機会」が挙げられている。事業については「学校・家庭・地域の連携のたまものである」という評価を頂戴している。一方で、現状として子どもたちの日本の伝統的な生活スタイルを知らないという事例がある。  また、高齢者と子どもの世代間交流の機会を増やすことで、次の世代に引き継いでいくというように、多世代での体験の必要性が求められるとのご意見があった。</p> <p><u>基本施策 2「誰もがいつでもどこでも学べる仕組みづくり」</u>に対する評価について  図書館の「ブックスタートなどの取り組み」やこども科学館の「宇宙の学校」は、本市らしい取り組みとして、しかもそれが定着しているとの評価を頂戴している。高齢者の生きがいづくりとしては、例えば介護予防教室といった福祉分野からのアプローチにとどめず、シニア世代の活力ある学びを「次代を担う子どもたち」に伝えていく取り組みづくりの充実を期待するといったご意見を評価として反映している。</p> <p><u>基本施策 3「学習成果をいかし市民がつながる生涯学習の推進」</u>に対する評価について  市との共同で行っている事業が多いことで評価をいただいている。成果については、「参加者数や満足度といった数字的なものだけではなく、市民がボランティアとして参加・活躍している姿であるとか、協働によりネットワークの広がりが形成されているといった要素」についても評価として表現することが重要であるというご意見を頂戴しており、それを踏まえている。</p>

#### 基本施策4「生涯学習環境の充実」に対する評価について

生涯学習環境の整備は、他の施策を支える土台にもなる重要な分野として評価いただいている。また、学生が勉強等に取り組めるフリースペースは評価できる取り組みであり、学生だけでなく、様々な学びに意欲的な市民の居場所として、開催日数の増加や対象者・実施場所の拡大等をすべきであるというご意見を頂戴している。

平成29年度は市施100周年ということもあり、多くの事業を実施したという評価をいただいているとともに、次の100年に向け今後も引き続き取り組んでもらいたいのご意見を頂戴している。また、「市民がつながり、地域社会が活性化する地域づくりの充実」や「子どもたちの多世代交流の機会を増やし、地域と連携し、体験をとおして次の世代を育てていく取り組みかつ充実」について、ご意見を頂戴している。各基本施策の説明について、今日お見せしているものは前回の審議会でお寄せいただいた意見をまとめたものだが、前回の審議会では足りなかった部分等があれば、それについてお話しをいただきたい。また、今日お寄せいただいたご意見の後の文言の整理については、時間の兼ね合いで、会長と副会長にご一任いただきたい。

#### 今後の事業評価の予定について

最終的に庁内の課長等で形成されている参事会に内容の確認を依頼し、教育定例会での報告を受けて10月の月上旬頃、市民の皆様ホームページ等で公開する予定である。

説明者：事務局

#### 基本施策1「子どもの頃から始める学びの基礎づくり」

委員：参加予定者数というのは例えば2回開催した場合は1回あたりで読めば良いか。

事務局：お見込みのとおり。

会長：1回あたりの参加は何人と書いてある箇所がある。

生涯学習政策課長：原則は参加者数なので今までの累計であるが、1回あたりのところは1回あたり何人という表記になっている。

委員：1回あたりでなければ延べになるということか。

生涯学習政策課長：お見込みのとおり。

会長：少し理解がしにくい。

生涯学習政策課長：公開をする際に整理することとする。

委員：「大人になってからの方が考える機会が多い」。「が」が2回続いている、もう少し文章をわかりやすくしていただくとありがたい。

事務局：承知した。

#### 基本施策2「誰もがいつでもどこでも学べる仕組みづくり」

委員：6ページの右の欄⑤について、289シニアボランティアとあるが、297の間違いではないか。また、もう1つその下の、251のターゲットも272ではないか。

事務局：修正する。

委員：施策の方向性とそれから施策の展開等を合わせて評価を見たときに、スポーツに関する評価の部分が少ない。「生涯スポーツとレクリエーション」についても何か評価ができることがあれば良いのではないか。今、読書や文化芸術、高齢者については評価しているが、更にスポーツに関して書き加えることができれば。

会長：もし、スポーツに関してご意見があればそれも評価の中に入れたい。スポーツに関しては八王子市スポーツ推進計画の方で取り上げているため、恐らく本会ではあまり意見をいただけなかったのだろう。

生涯学習政策課長：お見込みのとおり、八王子市スポーツ推進計画でご意見をいただいている。

委員：表現の問題だが、生涯学習審議会評価の部分で「多世代交流という視点を超えて」という行について、多世代交流という視点だけでなく、伝統文化の継承という点も評価していただきたい。

生涯学習政策課長：承知した。

委員：生涯スポーツレクリエーションの内容について、例えば昔はエアロビが流行っていたが、今はホットヨガなどのヨガが流行っている。ヨガはスポーツかレクリエーションか分からないが、そのような今のニーズをどんどん入れていった方が良いのではないか。

会長：スポーツに関してスポーツ推進計画が別途あるのだとすれば、ここに入れることが良いのかどうかというのは行政のほうで後程検討していただく必要がある。

生涯学習政策課長：計画を作成しているスポーツ振興課と検討する。

### 基本施策3「学習成果を活かし市民がつながる生涯学習の推進」

委員：住民主体サービスの担い手養成研修講座は地域補助や生活の支援ということを謳っているのですごくいい事業だと思う。地域別に見ると、浅川を除く本町とか元八・由井・北野と4つの地域で別々にきちんと行われているという点も興味深い。地域の互助・支援ということを地域交流ということで、一行でも入れてもらえると良い。

会長：八王子の場合は、色々なところで開催しているはずなので、例として載せている文章もその地域で行われていることが評価されているということが明記されていた方が良いのではないか。文章の検討をされたい。

事務局：承知した。

委員：基本施策3の①にある人材の育成と活躍の場の提供。事業自体も44個もあり、八王子市としては非常に特徴的なもの

である。現状と課題の右側にも書いてあるとおり、人材育成講座のほかボランティア育成講座も実施していると、これだけたくさんの方をやってる所はなかなかないと思うので、是非事業評価の中に入れてほしい。審議会評価の4行目あたりでそのことに言及しているのかなと思うが、もう少しはっきりと書いてもいいのかなと思う。また、市民がボランティアとして活動している姿については、市民が自主的にボランティアをやっているような表現になっているが、その人材をどう育成しているのかというところが少し抜けているかなと思うのでそれはぜひ入れてほしい。

会 長：特に八王子らしいところで大事な視点である。評価をしていただいている部分なのでぜひ、載せていただきたい。

#### 基本施策4「生涯学習環境の充実」

委 員：生涯学習情報を発信するという事は大事なところだが、講座情報の発信のことが今の取り組みの中に入っていない。広報はちおうじ等で発信しているということを入れた方が良いのでは。

会 長：こういうものでこういう情報提供をしている、ということを入れた方が良いかもしれない。施策に合うような形の文体に直していただくことがよろしいかと。

生涯学習政策課長：承知した。

会 長：講座の情報提供もまだ完璧ではないから、更にどういう方法があるのか研究されたい。

生涯学習政策課長：様々な方法を検討してほしい、といったことを審議会評価として少し追加させていただく。

会 長：総合的にまとめるポジションがないということが前々から課題になっている難しいところである。

委 員：共催が非常に増えてきて良かった。共催と同時に協働事業の推進という観点も今回非常に目指せると思う。そういう意味でこの評価の中にも何かこの協働事業への関心、協働事業への推進といったことを一行でも謳ってほしい。

生涯学習政策課長：反映する。

委 員：方向性のところで、継続とか休止・廃止・終了とあるが、継続について、このグラフを見る限りは95%以上が継続になっている。これは方向性ということで、所管の部署が継続するのとかいうことを決めているのか、それともどこか別のところが最終的な決定をしているのか。

会 長：基本的には所管が決めているのか。

生涯学習政策課長：お見込みのとおり。最終的には予算で判断がされるので、事業所が希望しても継続できないケースはある。したがって、計画上の判断として事業所管はそれを推進していきたいという判断で継続を出している。

委員：ここに出てくる所管部署が継続をある意味希望しているという。

生涯学習政策課長：お見込みのとおり。

委員：優先順位をつけて予算要求をしているのか。

生涯学習政策課長：お見込みのとおり。

会長：優先順位が下の方だと可能性としては薄いということか。

生涯学習政策課長：継続している事業はそのまま継続する可能性が高いが、今年新規の事業が来年継続できるかということ、そのような事業は場合によっては1年ということもありえる。

委員：新規のものは1年だけだと分からない、成果として評価が難しいのではないか。例えば一旦3年、5年のように実施し、それから最終的に評価するといった手法はとられていないのか。

生涯学習政策課長：元々1年で予算上セットしている場合、1年で無くなってしまう場合もある。

会長：見直しのような形で予算が減らされることがあるということか。

生涯学習政策課長：お見込みのとおり。

会長：それでは、色々ご意見を賜ったが、次回の会議まで少し日程が空いてしまうので、会長・副会長にご一任を賜りたい。

#### 【報告事項】

・報告資料 1-1 平成30年度都市社連協 第2回役員会・第2回拡大役員会、第1回理事会

30年度の各ブロックの研修会の実施計画案（テーマ）

第1ブロック(瑞穂町)：「これからの社会教育事業を考える」

第2ブロック(国立市)：「障害を越えて共に生きる」

第3ブロック(八王子市)： ※報告資料 1-3 にて説明

第4ブロック(東久留米市)：「私たちが排出している家庭ごみについて」

第5ブロック(府中市)：「人生100年時代の学びと地域の繋がり」

・報告資料 1-2 第3ブロック八王子市の研修内容

日時：9月29日(土) 2時15分から5時まで

場所：コニカミノルタサイエンスドーム

テーマ：「知の共鳴学ぶこと繋がることその先へ」

スケジュール：13時45分に受付開始 14時15分に開会予定

開会：三浦会長に依頼

挨拶：青梅市の副会長、生涯学習スポーツ部長瀬尾

・丹間委員による基調講演「少子高齢社会人口減少社会における生涯学習の見解、社会教育を支える子どもたちの未来」

・こども科学館の概要・役割説明、プラネタリウム

・時期開催地多摩市挨拶（炭谷副会長 ※多摩市では会長）

・閉会：岡本副会長からご挨拶

集合時間：12 時半  
場所：コニカミノルタサイエンスドーム 2 階会議室  
役割分担：開会：三浦会長  
司会：加藤委員  
講義：丹間委員  
受付：小林委員、石川委員、碓井委員  
会場案内等：浅井委員、小倉委員、永村委員、村上委員、  
守屋委員  
次期開催地挨拶：炭谷副会長（多摩市の会長として）、  
岡本副会長

・報告資料 1-3 第 60 回全国社会教育研究大会青森大会 開催要項

・報告資料 1-4 第 49 回関東甲信越静社会教育研究大会長野大会  
開催要項

期間：11 月 15 日～16 日

場所：長野県長野市の北都文化ホール

日程：1 日目（11 月 15 日）11：30～12：30

市長講演→パネルディスカッション→

情報交換会（希望者のみの参加）

2 日目分科会（希望者のみ参加）

第 1 分科会（学校家庭地域の連携と社会教育）

第 2 分科会（公民館活動と社会教育）

第 3 分科会（市教育と社会教育）

第 4 分科会（社会教育委員の役割と社会教育）

第 5 分科会（未来のまちづくりと社会教育）

・報告資料 2-1 「八王子駅南口集いの拠点整備基本計画（素案）」にお  
ける「憩いライブラリの方向性（案）」について

・コンセプト：また来たくなるみんなの居場所

（長時間滞在型文化交流施設）

・前提とする考え方：これまで図書館を利用したことのない利用者が  
喜ぶ

・図書館機能：学習の充実や電子書籍の導入、歴史郷土ミュージアム  
と連携した資料の提供など

・学習交流機能：学びに役立つ篆書や、個人にもグループにも対応で  
きる多様な学習スペースの設置。学生の町という八  
王子の強みを活かした大学生による小中学生への学  
習支援など

・滞在促進機能：ひとりでも、またグループでも、子連れでも、1 日  
中心地よい時間が過ごせるよう眺めの良い席、カフ  
ェ等の飲食のできる空間など、居心地のよい多彩な  
空間

・郷土資料館・公園との融合⇒複合効果を最大化させる

説明者：中央図書館長

委員：非常にコンセプトが現代的で期待している。

委員：図書館が国際的にも日本国内でも、かなり生まれ変わろうとしている時代だと思うのでぜひ色々なところの情報を集めていただいて進めていただければ。

委員：橋本のミウイという建物の中にある図書館はこのようなコンセプトが活かされている。みなみ野には TSUTAYA の中にカフェが一緒にある。それもとても参考になると思う。

中央図書館長：これは大きな敷地ですので、緑（防災機能を備えた公園）と歴史郷土ミュージアムと図書館があるということはどううまく利用するかということが大切である。

委員：これは4番目の図書館ということになるのか。

中央図書館長：お見込みのとおり。

委員：人口50万以上の都市で博物館がないのは八王子だけなので、郷土資料館がメインで、そこに図書館のようなスペースが入ってきて公園もあるイメージで良いか。

中央図書館長：お見込みのとおり。基本的には歴史郷土ミュージアムがあり、図書館としては居場所機能を重視した居場所づくり。図書館機能と歴史郷土ミュージアムが一緒に出来ると歴史資料との一体的な管理によって付加価値を出していく。

会長：読書をする際に空気はとても大切な要素の一つでもある。今後具体化していく中で、飲食できる空間を作る際は、臭いという部分もご検討いただきたい。

中央図書館長：「臭い」については盲点であった。飲食は需要が多いが、臭いについてはうまく切り分けたい。

・報告資料2-2 特別展示「明治の八王子と自由民権運動」の開催について（結果報告）  
来場者数 468 名

・報告資料3 生涯学習プランの振り返りを通していただいたご意見等について（まとめ）  
キーワードとして以下の6点に集約  
①体験、②大学生、③地域性、④広報、⑤IT技術の利活用、  
⑥地域人材の活用

・報告資料4 教育委員会 定例会 関連資料  
1. 第31号議案八王子市小中学校における働き方改革推進プランについて  
2. コンクリートブロック塀の調査結果について  
・大阪府にて地震により小学校のプールのコンクリートブロックが倒れ、小学生が下敷きになり死亡するという事故が発生した。八王子についても、そのようなブロックがないか点検した。  
・2.2m超のコンクリートブロックを有する施設：21施設  
・21施設中、13施設が学校→7月中に撤去  
・学校以外の公共施設（8施設）について7月中に設計をし、8月



中に撤去を進める。

- ・通学路などにも危険がある可能性があるため、9月に学校教育部を中心に、点検をすることで進めている。

### 3. 八王子市未来シンポジウムの実施結果

6月23日に小田原市・寄居市・八王子市が連携して開催

### 4. 第3回中学生サミット（8月3日実施）

- ・第1回、第2回：中学生がいじめについてのサミットを行った
- ・第3回目：中学生が出した自由な意見のうち一番良いと認められたものを事業化する。その予算を市長が確保する。

### 5. 監査結果の措置について

- ・生涯学習スポーツ部でシルバー人材センターの委託契約について、指摘があり、それについて措置をした。
- ・スポーツ施設管理課で行っていた指定管理者についてモニタリングの経過がホームページに公表をされていなかったため、対応した。

### 6. こども科学館のネーミングライツ

- ・7月でコニカミノルタのネーミングライツの期限切れる。
- ・協議の結果、2年間延長して32年の7月まで「コニカミノルタサイエンスドーム」ということで継続することとなった。

### ・その他（資料未配付）

八王子市生涯学習プラン第二次読書のまち八王子推進計画について  
現行の八王子市生涯学習プランと第三次読書のまち推進計画について、来年度平成31年度をもって5か年の計画が終了するため、平成32年度からの向こう5か年の計画の策定について報告する。

- ・今後の予定：今現在、教育委員会では生涯学習スポーツ部と図書館部において生涯学習審議会への諮問を作成している。  
教育委員会内での意思決定を得て、今年10月、生涯学習審議会の諮問を行う予定。

30年度：3月末までの間に答申を行う

31年度：生涯学習スポーツ部と図書館部で計画を作成。

6月に生涯学習審議会において、計画の策定の合議を始める

- ・現在の審議会委員の皆様は31年度6月末を以て任期満了→7月から次期審議会委員に委嘱し、会議を行う予定

報告：事務局

会議録署名人	<p>平成 年 月 日 署 名</p> <p>上会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。</p> <p>八王子市生涯学習審議会会長</p> <p>八王子市生涯学習審議会委員</p>
--------	--